前期入学式　式辞

桜の花も咲き始め、春の訪れを実感するこの佳き日に、後援会会長並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、入学式を挙行できますことは大きな喜びであり、皆様方に厚く御礼申し上げます。

入学を許可された２８名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。本校教職員在校生一同、心から歓迎いたします。

北斗高校は、昭和７年、１９３２年に開校し、今年度で９４年目を迎える伝統校です。開学以来、学びたいという強い意志を持つ方々のために、きめ細かく多様な学びの場として門戸を開放し、時代の要請に柔軟にこたえてきました。通信制の課程は、平成１１年、１９９９年に設置され、今年度で２７年目を迎えます。今日から皆さんと共に、新しい歴史を刻んでいくことを、大変嬉しく思います。また、皆さんにも、この伝統ある北斗高校に入学することに、誇りを持って

ほしいと思います。

入学式にあたり、皆さんにお伝えしたいことが２つあります。

１つは、「様々な形の出会いを楽しむ気持ちを持つこと」です。通信制という新しい形の学びを、皆さんはご自分で選び取り、今日ここに集っています。「みんな違って、みんないい。」そう歌った詩人がいます。百人いれば、百人分の人生があります。２８人いれば、２８通りの生き方があります。新しい環境で、新しい学びや多くの方々と出会う中で、自分の幅をさらに広げてください。最初はとまどったりすることもあるかもしれません。どうか慌てずに、何度でもやり直して、新しい仲間や先生方とつながり、自ら選んだ学びを前向きに楽しんでください。

２つ目は、「経験を糧にする」ことです。北斗高校で学ぼうと決めた時から、皆さんはすでに大きな一歩を踏み出しています。その決意も一つの経験と言えます。なぜなら、何かを決めて進もうとするとき、皆さ

んは、ご自分の知性を発揮しているからです。そしてその知性を発揮する経験は、確実に皆さんの糧となります。

教職員一同、地域の方々と協力しながら、皆さん一人ひとりが、様々な学習や体験をとおして、本来持っている力や、秘めた「可能性」に気づくお手伝いをしていきます。ただし、実際に行動し、積み上げていくのは、他ならない皆さんです。時に失敗しても大丈夫です。高校時代に、自分の成長に向かって、何度でも、挑戦の一歩を踏み出してください。

次に、保護者並びにご家族の皆様、これまでずっと暖かく支えて来られたお子様、ご家族のご入学、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。私どもは、生徒全員が安全に安心して学べるよう、一丸となって支援する体制を整え、一人一人との対話を大切に、きめ細かな指導・サポートをしてまいります。時間がかかることもあれば、時には、厳しいことも、申し上げなければならないことが、あるかもしれ

ません。それでも私たちは、生徒の高校卒業後の姿を、社会で夢をかなえる姿を見据えながら、日々の教育活動に誠心誠意全力で取り組んで参ります。どうかご一緒に温かく見守り、かけがえのない高校生活を後押しいただけますよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、本校の名称である「北斗」は、北斗七星を表しています。春の星空を代表する北斗七星は、古来より運命の転換、協力、絆を意味するとともに、北極星を見つける指針の星となることから、迷ったときの道しるべ　として私達を照らし続けてきました。皆さんそれぞれが、北斗高校での出会いと学びの中から、自らを照らす道しるべを見つけることを、これからの人生の支えとなる学びを得ることを心から願い、応援しています。

学校はチャレンジと失敗を繰り返しながら成長していく場所です。どうか思い切って挑戦してみてください。北斗高校での学びが、皆さんの人生をより豊かに

してくれることを心から願い、式辞といたします。

令和８年４月１９日

青森県立北斗高等学校

校長　　菊池　真理子